２０１６年（平成２８年）１０月１２日　水曜日

デーリー東北新聞　１０面　掲載

青森40位

天皇、皇后杯

2016 希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」は10、11日、岩手県内各地で熱戦を展開し、閉幕した。青森県勢は陸上少年男子B3000㍍で田澤廉（是川中―青森山田高）が県記録と県高校記録を更新し、2位に入る活躍を見せた。レスリング少年グレコローマンスタイル120㌔級の番地啓太（八学光星高）、ボクシング少年男子ライトフライ級の坂本達也（青森山田高）も準Vだった。陸上成年男子やり投げの工藤辰郎（弘前実高―東海大）は6位入賞し、県記録を更新した。

天皇杯（男女総合優勝）は東京が獲得。開催県の岩手は2位だった。青森は前回と変わらず40位。女子総合（皇后杯）は前回から三つ順位を上げ40位だった。

第72回大会は冬季大会を長野県、本大会を愛媛県などで開催する。スケート・アイスホッケー競技会は2017年1月27～31日、スキー競技会は2月14～17日に実施。本大会の主会期は9月30～10日。

（竹高雅人、瀬戸麻理乃、稲村安莉）

田澤（是川中―青森山田高）2位

少年男子B 3000

成年男子やり投げ 工藤（東海大）6位

陸上

（北上総合運動公園陸上競技場）

【成年男子】

▽800㍍予選

「2組」③田中匠瑛（盛岡市役所）1分50秒86＝決勝進出

「3組」⑤マロン・アジィズ航太（自衛隊）1分52秒67＝準選

▽800㍍決勝 ①西久保達也（埼玉・早大）1分51秒17 ②村島（富山・順大）1分51秒18 ③川元（長野・スズキ浜松AC）1分51秒18 ⑧田中匠瑛（盛岡市役所）1分59秒71

▽110㍍障害決勝 ①矢沢航（神奈川・デサント）13秒62 ②金井（北海道・法大）13秒74 ③西沢（鳥取・鳥取陸協）13秒80

▽やり投げ決勝 ①新井涼平（埼玉・スズキ浜松AC）81㍍62 ②小南（北海道・国士舘大）75㍍85 ③村上（愛媛・スズキ浜松AC）74㍍02 ⑥工藤辰郎（東海大）71㍍51＝青森県新

【少年男子A】

▽400㍍決勝 ①井上大地（東京・東京高）47秒33 ②北谷（兵庫・科学技術高）47秒61 ③鵜池（京都・西京高）47秒64 ⑧相沢潤一郎（埼玉・西武台高）69㍍67 ②池川（兵庫・滝川二高）66㍍30 ③前田（静岡・菊川南陵高）64㍍53

【少年男子B】

▽3000㍍予選

「2組」①田澤廉（青森山田高）8分22秒55＝決勝進出

▽3000㍍決勝 ①林田洋翔（長崎・桜が原中）8分19秒14＝中学新 ②田澤廉（青森山田高）8分19秒80＝青森県新、県高校新 ③井川（熊本・九州学院高）8分20秒36

▽走り幅跳び決勝 ①中野裕仁（愛知・名城大付高）7㍍15 ②小畠（石川・飯田高）7㍍14＝追い風参考 ③加藤（東京・東京高）7㍍11

【少年男子共通】

▽5000㍍競歩決勝 ①山本龍太郎（富山・富山商高）19分56秒66 ②川野将虎（静岡・御殿場南高）20分2秒38＝以上大会新 ③竹内（東京・堀越高）20分11秒91 ⑮前田黒川卓（八戸学院光星高）21分52秒15

▽三段跳び決勝 ①水谷司（北海道・帯広農高）15㍍48 ②西村（京都・洛南高）15㍍35 ③横森（山梨・韮崎高）15㍍29

【成・少年男子共通】

▽400㍍リレー決勝 ①愛知（森、高橋、中沢、長田）40秒00 ②福岡40秒03 ③静岡40秒07

【成年女子】

▽5000㍍競歩決勝 ①岡田久美子（埼玉・ヒックカメラ）21分24秒94＝大会新 ②藤井（福岡・北九州市立高）22分14秒52 ③高山（富山・新潟医療福祉大）22分20秒36 大久保玲美（弘前大）＝失格

▽100㍍障害決勝 ①ヘンプヒル恵（京都・中大）13秒35＝追い風参考 ②小林（愛知・愛知教大）13秒46＝追い風参考 ③清山（宮崎・いちご陸上部）13秒53＝追い風参考

▽走り高跳び決勝 ①福本幸（兵庫・甲南学園AC）1㍍75 ②渡辺（大阪・ミライト・テクノジーズ）1㍍75 ③京谷（北海道・北海道ハイテクAC）1㍍72 ③神坂（千葉・市船橋高）1㍍72

【少年女子A】

▽400㍍準決勝

「1組」⑧寺本光里（弘前実高）58秒37＝準選

▽400㍍決勝 ①青木りん（神奈川・相洋高）54秒67 ②島田（福井・敦賀高）54秒82 ③秦野（千葉・東海大市原望洋高）55秒10 ▽3000㍍決勝 ①ヘレン・エカラレ（宮城・仙台育英高）8分58秒36 ②田中（兵庫・西脇工高）9分5秒03 ③加世田（千葉・成田高）9分5秒73 ㉒モニカ・マーガレット（青森山田高）9分53秒06

【成・少年女子共通】

▽400㍍リレー決勝 ①東京（山内、福田、エドバー、藤森）45秒45 ②大阪45秒52 ③北海道45秒64

▽天皇杯得点 ①東京1332 ②大阪1145 ③埼玉1035 ④京都1025 ⑤神奈川1025 ⑥千葉1005 ⑦兵庫998 ⑧愛知925

▽皇后杯得点 ①大阪872 ②東京723 ③埼玉625 ④京都575 ⑤千葉515 ⑥長野505 ⑦兵庫498 ⑧宮城48

失速しても諦めず

○…少年男子共通5000㍍競歩は1、2位が大会新という高速レース。黒川卓（八学光星高3年）は15位で終わり、「悔しいけど諦めず歩いた黒川は自己ベストを更新。東北町から応援に駆け付けた父寿さん（56）は「自己ベストで本当に良かった。きつかったべ」と息子をねぎらった。

失速しても諦めず

これが実力」と振り返った。中盤に失速。集団からもかなり離され、「心が折れそうになった」。だが「せっかく国体まで来たんだ。せめてタイムだけは残して青森に帰りたい」と気持ちを切り替え、失格にならないよう脚を進めた。

デーリー東北新聞社提供